

# THE KILLER WHALE TIMES

2023年度 全日本選手権大会号

皆様いかがお過ごしでしょうか。タイムス班の西海谷です。全日本選手権大会号のタイムスを発行させていただきます。





## RACE RESULTS

### ○ 男子舵手付きフォア 2000m

#### 予選C組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	防衛大学校	7'42"47	4
2	神戸大学	7'32"24	3
3	法政大学	7'00"91	1
4	岡山大学	7'45"64	5
5	小樽商科大学	7'09"16	2

#### 敗者復活D組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	筑波大学	7'29"74	3
2	東京大学	7'14"62	1
3	小樽商科大学	7'16"19	2
4	熊本大学	7'54"01	4

#### 準決勝A組

レーン	クルー名	タイム	着順
1	小樽商科大学	7'03"91	5
2	富山国際大学	6'34"92	2
3	明治大学	6'32"78	1
4	中央大学	6'35"00	3
5	東京大学	6'44"74	4

#### 決勝B

レーン	クルー名	タイム	着順
1	慶應義塾大学	6'59"20	4
2	東京大学	6'57"45	2
3	仙台大学	6'55"18	1
4	小樽商科大学	6'58"84	3

## COMMENT

### ○若菜海斗(3)

私はインカレでは2番に乗っていました。私自身インカレに出漕するのは初めてであり、2000m レースの経験自体も2回目ということで圧倒的な経験不足な挑戦となりました。実際のところレース経験で言えば他4人の方があると思います。

そういった中で迎えたレース初日はかなりの緊張でしたが、かつてないほどに綺麗なレース展開で漕ぎ切ることができました。練習において不安視していたスタートもバランスを崩すことなくきまり、レース最中も声かけが可能くらい冷静に落ち着いて漕ぐことができました。結果は二着でしたが、この時点で商大フォアは全国の舞台でも戦えるようになっていくと確信しました。この自信が2日目にいい影響を与えて、二着ではあるものの一位と競り合ういいレースが出来ました。

これで準々決勝進出がきまり、次のレースでいよいよ目標の準決勝進出もしくはC決勝進出が叶うかどうかと言ったところまでできましたが、翌日は台風による中止。タイム順での繰り上げにより準決勝進出が決まりました。思わぬ形で目標を達成してしまったため、本当にこの舞台に立っていいのかというプレッシャーが掛かり、これが漕ぎに現れて準決勝では大差をつけられての最下位となりました。

そして5日目の最終日、B決勝では気持ちを入れ替えて自分にとって最後のレースを、共に頑張ってきた仲間たちと迎えようと思いながら臨みました。このレースは自分の中では過去1の漕ぎができたと思います。前に行く他大に食らいつき入賞は逃したものの4クルー中3位でゴールしました。現地に応援しにきてくださったOBOGの皆様、遠征中エッセンや準備などを手伝ってくれた部員の皆のおかげ最後の最後まで漕ぎ切ることが出来ました。たくさんの声援の中でレースができて最高でした。

私はコロナ流行と同時に大学に入学した世代であるため、1年目はどこにも属さず2年目からボート部に入部しました。その時はすでに入部していた同学年の人と同時に入部した1年生との狭間に位置する感じでした。しかし、1年生のみんなが優しく迎え入れてくれて、2年生である自分もすぐに馴染むことができました。ボート部での練習は想像以上にハードであり、気がつく同期がどんどん減って行ってしまいました。そして翌年には腰を痛めたことでほとんど練習ができなくなり、かなりストレスがかかりました。せっかく新たに入部してくれた後輩たちがいるのに何もできない自分に嫌気がさす日々を送っていました。その年の冬にようやく症状が良くなり、入部時よりも遅くなったタイムと向き合いながらの練習を再開しました。この事実もかなり心にくるものがありましたが、後輩と一緒に練習を頑張ってくれることで私自身も自分と向き合うことが出来ました。

ボート部での生活は身体的な辛さだけではなく、部員が減っていく辛さであったりとさまざまな要素がある中で私が続けて来られたのは一緒に練習を頑張ってくれたり支えてくれ

た仲間のおかげであり、たった 1 人の同期と後輩たちのおかげに他ならないと思っています。

これからは彼らのファンとして応援する側にまわりたいと思います。3 年間ありがとうございました。

## 監督報告

### 監督報告

監督 谷津法彦（平成 5 年卒）

インカレは何かと変化があって、男子付フォアに関してはエントリー 32 クルーなので 9/6 日(水)に予選。

9/7(木)に敗者復活戦。

9/8(金)に予選 1 位及び敗復 1～3 位のクルーで準々決勝。

9/9(土)に準々決勝 3 位のクルーで C 決勝、準々決勝 1～2 位のクルーで準決勝 A,B。

9/10(日)は準決勝 4,5 位のクルーで B 決勝、準決勝 1～3 位のクルーで A 決勝、というスケジュールです。

A 決勝は 6 パイ、B 決勝は 4 ハイ、C 決勝は 5 ハイのレース。順位が付くのは 8 位までですが、この「決勝」と名のつくレースで漕げるチャンスは広がった訳です。

商大の対校種目は舵手付フォア、北大戦と同じメンバーで臨みます。

北大戦終了後 8/9 から練習再開。茨戸で出来る練習は 3 週間でしたが、北大戦を境にクルーの練習量も雰囲気も変わってきました。とても手応えのある練習が増えました。

エルゴの 2,000m は整調本庄が 6 分 58 秒、小高と川内が 7 分 4 秒、若菜が 7 分 6 秒と、そこまで高い訳ではありません。それでも 8/26 に行ったペケレットでの 2,000m では順風で 6 分 50 秒を切る好タイム。茨戸での最後の練習となった 8/28 の 1,500m×4 本を見て「これなら準決勝には行けるよ」と言いました。

予選は 7 分 09 秒 16、全体で 32 クルー中 16 番目。

敗復は 7 分 16 秒 19、全体で 25 クルー中 2 番目。

準々決勝は台風の影響による悪天候ですべて中止。

結局予選 1 位クルー、及び敗復タイム順に準決勝のレース組み合わせが決まるという事に

なり、小樽商大は準決勝に進む10クルーに入る事が出来ました。  
つまりこの時点で2002年以來の舵手付フォア準決勝進出と、初となるインカレ最終日進出が確定、自分は興奮を抑えながらの戸田入りとなりました。

準決勝レースは7分03秒91、10クルー中10番目。B決勝に回る事になりました。  
若さが出てしまったというか、ウオームアップからずっと噛み合わない感じのままで不本意なレースとなってしまいました。このままではC決勝止まりだったのに商大よりタイムの良かった北大にメンツが立ちません。運にも恵まれたとはいえせつかく掴んだ大舞台なんだからと気持ちを入れ直しました。

記念すべきインカレ最終日、猛暑の中B決勝仙台大、東大、慶応義塾大との4ハイレース。  
もともとスタートから超ハイペースで飛ばしにかかるクルーではありませんから、スタートで出られた事よりもその後のコンスタントでしっかり戦えた事は大きかったと思います。  
2年生中心なのに中盤以降にしっかり持ち味が出せるというベテランクルーみたいな感じ  
です。結果慶応を振り切って3着でフィニッシュ。前日の反省を活かして実力を遺憾なく  
発揮した見事な漕ぎっぷりでしたし、決して運だけで最終日に残った訳では無い事を証明  
してくれたようなレースでした。前夜緑丘会館で行われた懇親会に集まって頂いた皆様にも  
背中を押された事と思います。入賞で賞状がもらえるのは8位までですが、数字の上では  
インカレ9位です。今まで見た事の無い景色を見させてもらった思いです。

1年生の二人にもトピックスがあります。

まず女子の森本。インカレは今年から男子・女子すべて同じ種目が採用されることになり、  
その中の女子エイトは混成クルーOKとなっていて、早速北大が1年生のみのエイトで  
出漕を決断。しかしちょうど7人しかいないというので女子コーチの小澤さんから商大の  
1年生の女の子と一緒にやりませんか？との打診があったのです。

森本本人に確認したところ、エイトには強い憧れがあるとの事。練習スケジュールの調整問題  
はありますが是非出てみたいとのことで、なんとインカレ出漕が叶いました。結果はとも  
かくとしてもエイトで全国大会の場を1年生で踏めた事は大きな財産ではないでしょうか。  
そして男子の森山。上級生が戸田入りして不在の9/2に行われた札幌市民レガッタ・フレッ  
シュマンの部・シングルスカルで堂々の3位入賞を果たしました。全部で9人のエントリー、  
1位・2位は北大医学部の2年生なので実力差は致し方ないですが、残り6人はすべて  
石狩翔陽高校生。元気な高校生を抑えて勝ったのは良かったと思います。

ご意見、ご要望などございましたら下記アドレスまでお願いします。

n\_tanitsu@yahoo.co.jp

#### 後援会費について

**後援会費は、原則として1年で¥10,000の定額**

**です。**¥10,000以上の金額をいただいた場合も、後援会費としてお預かり致します。後援会費はほぼ全額が現役部員の活動援助金として充てられますので、できる限り多くの皆様のご協力をお願い致します。(尚、後援会則に則り、満年齢65歳以上の会員の方・既婚女性の会員の方の原則後援会費は免除扱いとなっています。)

後援会費は、**日本信販の自動引落サービス**をご利用できます。できる限り多数のOBの方々のご加入下さいますようお願い致します。ご加入方法及び引き落とし口座の変更につきましては、現役会計(若菜海斗)か担当の平成10年卒佐藤公洋までお問い合わせください。振込先はこちらとなっています。

ゆうちょ銀行 店名・店番:908  
口座番号:1532438 (普通預金)

北洋銀行 なまえ:オタルシヨウカダイガクノ  
ウティブ

店番:341  
口座番号:3657349  
取引店:小樽中央支店

連絡先: 会計 2年目 田鎖龍汰

TEL: 080-4041-0683

Mail: t.ryuta104@gmail.com

#### ＊個人情報保護の取り組み＊

後援会会員の方々には、小樽商科大学漕艇部の活動に必要な情報として、お名前・連絡先・勤務先などの個人情報をご提供いただいております。小樽商科大学漕艇部では、ご提供いただきました個人情報につきましては以下のように取り扱います。

・会員の方々の個人情報の利用については、小樽商科大学漕艇部の活動(後援会誌『しゃち』や『Killer Whale Times』の発送・配信など)の範囲内での利用に限定します。

・ご自身に関する情報の訂正・削除などのご依頼があった場合は、特別の理由がない限り対応をいたします。

・会員の方々の情報保護が確実に実施されるための継続的な改善を行い、適切に管理いたします。

ご意見やご提案等がございましたらお問い合わせください。今後ともよろしくお願ひいたします。

連絡先: タイムス班

2年目 西海谷 響

TEL:080